

科目名	保育実習指導 b						
	【保育士必修】						
授業形態	演習	学年	2年	開講時期	前期	単位数	1単位
担当教員	渡辺 一弘・郭 小蘭・渡部 琢也・櫻井 直輝・河原田 潤						

内容および計画	<p>保育実習指導 bは、保育実習 bにおいて、目標を定め実習の計画を立てる等の保育所での実習に臨むための事前指導、実習の巡回指導における振り返りと課題の整理、実習後に実習を振り返って良かった点や反省点や課題等の、整理および解決策を考えたりすることをおこなう事後指導から成る。この演習の目標は、以下の5点である。</p> <p>保育実習の意義・目的を理解する。 実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 保育所における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。</p> <p>実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 また、事前指導においては、現場経験者を招いた講義を2回実施する。毎回の具体的内容については、日程調整の上、初回の講義で示すが、15回他に、目標設定や実習の振り返りのための個別面接等も実施する。</p>
1	実習の目的、「実習目標」の立て方、保育所についての基礎知識
2	実習の実際について（観察実習・部分実習・日誌の書き方）
3	実習目標作成
4	グループ活動
5	グループ学習
6	グループ発表
7	グループ発表
8	特別講義
9	体験実習事前指導
10	実習直前指導
11	特別講義
12	グループシェアリング
13	個別面談
14	個別面談
15	まとめ

教科書	既習の保育関連の教科書を見直すこと。
-----	--------------------

参考書	
-----	--

成績評価	評価については、講義中に説明する。
------	-------------------

学習到達目標	<p>保育所の役割や機能を、実践の場で具体的に理解すること。 観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める、かかわり方について自ら考えること。 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育および保護者への支援について総合的に学び、実践と繋がった理解をしようとする事。 保育の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解すること。 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学び、実践の場でのあり方を理解すること。</p>
--------	--

先修条件	
------	--

その他	
-----	--